

1.	②	11.	①	21.	④	31.	④	41.	①
2.	④	12.	②	22.	②	32.	④	42.	③
3.	①	13.	④	23.	③	33.	①	43.	②
4.	②	14.	②	24.	③	34.	③	44.	③
5.	④	15.	①	25.	④	35.	①	45.	④
6.	①	16.	③	26.	②	36.	①	46.	③
7.	①	17.	①	27.	①	37.	③	47.	①
8.	④	18.	②	28.	①	38.	④	48.	③
9.	①	19.	④	29.	④	39.	④	49.	③
10.	④	20.	①	30.	③	40.	②	50.	①

1.

解答 ②

【解説】

正解は②の`recently`で、「最近、近頃」という意味の副詞です。現在からあまり遠くない過去のある時点を表し、過去形や現在完了形と共に使われることが多いです。`Have you seen any good movies recently?`（最近、何か良い映画を見ましたか?）。他の選択肢は、①`frequently`が「頻繁に」、③`currently`が「現在は、今のところ」、④`certainly`が「確かに、もちろん」という意味です。

◆補足：`recently`と似た言葉に`lately`があります。どちらも「最近」と訳せますが、`lately`は現在完了形と共に使われることが多く、`recently`は過去形とも現在完了形とも使えます。形容詞形は`recent`（最近の）で、`in recent years`（近年）という形でよく使われます。

2.

解答 ④

【解説】

正解は④の`enjoyable`で、「楽しい、楽しめる、愉快的な」という意味の形容詞です。喜びや楽しさを与えてくれるような経験、活動、時間などに対して使います。`Thank you for a very enjoyable evening.`（とても楽しい夜をありがとうございました）。他の選択肢は、①`employed`が「雇われた」、②`enabled`が「可能にされた」、③`enlarged`が「拡大された」という意味です。

◆補足：`enjoyable`は、動詞`enjoy`（楽しむ）に、可能を表す接尾辞`-able`が付いてできた形容詞です。「楽しむことができる」から「楽しい」という意味になっていると理解できます。同じ「楽しい」でも`fun`は主に名詞として使われるのに対し、`enjoyable`は`an enjoyable trip`のように名詞を修飾できる形容詞である点が大きな違いです。

3.

解答 ①

【解説】

正解は①「考え、思考」です。名詞の`thought`は、頭の中で考えられること、アイデア、意見、あるいは考えるという行為そのものを指します。`Let me know your thoughts on this plan.`（この計画についてのあなたの考えを聞かせてください）。②「真実」は`truth`、③「感謝」は`thanks`、④「教えた」は動詞`teach`の過去形・過去分詞形の`taught`で、品詞が異なります。

◆補足：`thought`は、動詞`think`（考える）の過去形・過去分詞形でもあります。名詞か動詞かは文脈で判断する必要があります。`I thought it was a good idea.`（私はそれが良い考えだと思った）。コロケーションとしては`give it some thought`（それについてよく考える）、`deep in thought`（物思いに深く沈んで）などがあります。

4.

解答 ②

【解説】

正解は②の`put on`で、「～を身につける、着る、はく、かぶる」という「動作」を表す句動詞です。`It looked like it was going to rain, so I put on my raincoat.`（雨が降りそうだったので、私はレインコートを着た）。他の選択肢は、①`take off`が「～を脱ぐ」という反対の動作、③`try on`が「～を試着する」という別の動作です。④の`wear`も「～を身につけている」と訳されますが、こちらは身につけている「状態」を表す動詞です。この`put on`（動作）と`wear`（状態）の使い分けは非常に重要です。

◆補足：`put on weight`で「体重が増える、太る」という熟語にもなります。目的語が`it`や`them`のような代名詞の場合は、`put it on`のように動詞と副詞の間に置くのがルールです。`These shoes are nice. Why don't you put them on?`（この靴すてきね。履いてみたら?）。

5.

解答 ④

【解説】

正解は④の`try one's best`で、「最善を尽くす」という意味です。`one's`の部分には`my`、`your`、`his`などの所有格が入り、誰が最善を尽くすのかを示します。`Although we lost the game, everyone tried their best.`（試合には負けたが、全員が最善を尽くした）。他の選択肢は、①`make one's bed`が「ベッドを整える」、②`do one's homework`が「宿題をする」、③`try something new`が「何か新しいことを試す」という意味です。

◆補足：`try one's best`と`do one's best`は、どちらも「最善を尽くす」という意味で、ほぼ同じように使えます。あえてニュアンスの違いを言うと、`try`は「(最善を尽くそうと) 努力する」という過程に、`do`は「(実際に) 最善の行動をとる」という結果に、それぞれ少しだけ焦点が当たることがあります。

6.

解答 ①

【解説】

正解は①の`familiar`で、「よく知られた、なじみのある、精通している」という意味の形容詞です。見聞きしたことがあって、よく知っている様子を表します。`This song sounds familiar. I think I've heard it before.` (この歌は聞き覚えがある。以前に聞いたことがあると思う)。他の選択肢は、②`famous`が「有名な」、③`favorite`が「お気に入りの」、④`former`が「以前の、元の」という意味です。

◆補足：`be familiar with ~` (～に精通している) と `be familiar to ~` (～によく知られている) の使い分けが重要です。`I am familiar with this software.` (私はこのソフトウェアをよく知っている)。
`His name is familiar to most Japanese people.` (彼の名前はほとんどの日本人に知られている)。

7.

解答 ①

【解説】

正解は①「～に基づいている」です。`be based on ~`は、「～を基礎 [根拠] としている」という意味の熟語です。物語、映画、理論、意見などが、何らかの事実や考え方を土台として作られていることを示します。`The film is based on a popular novel.` (その映画は人気小説に基づいている) という表現は非常によく使われます。②「～の前に置かれている」は`be placed in front of ~`、③「～に頼っている」は`be dependent on ~`、④「～の基礎である」は`be the basis of ~`などが適切な表現です。

◆補足：`base`は名詞で「土台、基礎」、動詞で「～の基礎を置く」という意味です。`be based on`は、その動詞`base`が受け身の形で使われている表現です。「～の上に基礎が置かれている」と直訳すると、意味が理解しやすいかもしれませんね。

8.

解答 ④

【解説】

正解は④の`range`で、「範囲」を意味する名詞です。価格、年齢、種類、距離などの、下限から上限までの広がりを指します。`This store sells a wide range of products.` (この店は幅広い種類の商品を売

っている)。他の選択肢は、①`change`が「変化」、②`strange`が形容詞で「奇妙な」、③`rank`が「階級、ランク」という意味です。

◆補足：動詞としては`range from A to B`の形で「A から B の範囲に及ぶ」という意味で使われます。`The temperatures will range from 20 to 25 degrees Celsius.`（気温は摂氏 20 度から 25 度の範囲でしょう）。また、`a mountain range`で「山脈」を意味します。

9.

解答 ①

【解説】

正解は①「初めて」です。`for the first time`は、ある経験を人生で、あるいはある期間の中で最初にしたことを表す表現です。`I tried surfing for the first time during my trip to Hawaii.`（私はハワイ旅行中に初めてサーフィンに挑戦した）。②の「最初に、初めは」は`at first`で、こちらは「最初は～だったが、後で変わった」というように、後の変化を含意する文脈で使われることが多いです。③「他の日に」は`on other days`、④「しばらくの間」は`for a while`や`for a time`が適切な表現です。

◆補足：`This is the first time (that) I have ...`（私が～するのはこれが初めてです）のように、現在完了形と共に使われることが非常によくあります。`This is the first time I have ever eaten such delicious pizza.`（こんなにおいしいピザは今まで一度も食べたことがない）。

10.

解答 ④

【解説】

正解は④の`grocery`です。通常は複数形の`groceries`の形で、スーパーマーケットなどで売られている食料品や日用雑貨を指します。`I made a list of groceries before going to the supermarket.`（私はスーパーに行く前に食料品のリストを作った）。他の選択肢は、①`goods`がより一般的な「商品、品物」、②`snack`が「軽食、おやつ」、③`dessert`が食後の「デザート」という意味です。

◆補足：食料雑貨店は`a grocery store`または単に`a grocery`と言います。「食料品の買い物」は`grocery shopping`です。`I do my grocery shopping once a week.`（私は週に一度、食料品の買い物をする）。

11.

解答 ①

【解説】

正解は①「純粋な、混じりけのない」です。形容詞の`pure`は、他の物質が混ざっていない、100%そのものである状態を表します。`This scarf is made of pure silk.`（このスカーフは純粋な絹でできている）。また、比喩的に、心や動機が「純粋な、潔白な」という意味でも使われます。`He loved her with`

a pure heart.」（彼は純粋な心で彼女を愛していた）。②「貧しい」は`poor`、③「礼儀正しい」は`polite`、④「個人的な」は`personal`が適切な単語です。

◆補足：名詞形は`purity`（純粋さ、清浄）です。動詞形は`purify`（～を浄化する、精製する）となります。`a water purifier`（浄水器）。`pure white`（純白）や`pure water`（純水）といったコロケーションで使われます。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②「いくつかの～、たくさんの～」です。`a number of`～`は、数えられる名詞の複数形と共に使われ、`several`（いくつかの）や`many`（たくさんの）とほぼ同じ意味を表します。文脈によって「いくつかの」とも「たくさんの」とも訳されます。`There are a number of reasons for my decision.`（私の決定にはいくつかの理由がある）。①「～の数」は`the number of`～`で、`a`と`the`の違いで意味が大きく変わるため、非常に重要です。③「～の大部分」は`most of`～`、④「～の一種」は`a kind of`～`です。

◆補足：`the number of`～`と`a number of`～`の最も重要な違いは、動詞の形です。`the number of`～`は「～の総数」という単一の「数」が主語なので、動詞は単数形になります（例: `The number of tourists is ...`）。一方、`a number of`～`は「複数の～」を指すので、動詞は複数形になります（例: `A number of tourists are ...`）。この文法ルールはテストで頻出します。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④「結局～することになる」です。`end up doing[with ～]`は、予期していなかった、あるいは意図していなかった結末に「結局～することになる、最後には～で終わる」という意味の熟語です。

`We took a wrong turn and ended up at the wrong airport.`（私たちは道を間違え、結局違う空港に着いてしまった）。①「～し終える」は`finish doing`、②「～することをやめる」は`stop doing`、③「～することに同意する」は`agree to do`です。

◆補足：`end up`の後ろには、`doing`（動名詞）の他に、`with + 名詞`（～という結果で終わる）や`in + 場所`（結局～にいることになる）などが続きます。`If you continue to be lazy, you will end up with nothing.`（怠け続けたら、結局何も得られないだろう）。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②の`customer`で、店で商品を買ったり、レストランで食事をしたり、サービスを利用したりする「客、顧客」を指す最も一般的な単語です。`That shop is famous for its excellent customer service.`（あの店は素晴らしい顧客サービスで有名だ）。他の選択肢は、①`client`が弁護士やコンサルタントといった専門家に仕事を依頼する「依頼人」、③`guest`が家に招かれたりホテルに泊まったりする「客、ゲスト」、④`audience`がコンサートや講演などの「聴衆、観客」を指します。

◆補足：これらの「客」を表す単語は、文脈によって使い分ける必要があります。`customer`が商品やサービスとお金の交換が伴う関係を指すのに対し、`client`や`guest`はより長期的、あるいは個人的な関係性を示唆することがあります。

15.

解答 ①

【解説】

正解は①「(料理の) 材料、成分」です。`ingredient`は、料理や製品などを構成している一つひとつの「材料、成分」を意味する名詞です。`The secret ingredient of this sauce is a little bit of honey.`（このソースの秘密の材料は、ほんの少しのハチミツです）。②「道具」は`tool`や`instrument`、③「栄養」は`nutrition`、④「指示」は`instruction`や`direction`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`ingredient`は、料理のレシピで頻繁に使われます。また、化粧品や薬品の「成分」を指すのにも使われます。比喩的に、成功などの「要素、要因」という意味で使われることもあります。

`Teamwork is a key ingredient for success.`（チームワークは成功に不可欠な要素だ）。

16.

解答 ③

【解説】

正解は③の`nearly`で、「ほとんど、ほぼ」という意味の副詞です。完全ではないものの、それに非常に近い状態を表します。`It's nearly midnight. We should go home.`（もうほとんど真夜中だ。家に帰るべきだ）。他の選択肢は、①`clearly`が「はっきりと」、②`early`が「早く、初期に」、④`really`が「本当に、とても」という意味です。

◆補足：`nearly`は`almost`とほぼ同じ意味で、多くの場合、置き換えが可能です。`I waited for nearly two hours.`と`I waited for almost two hours.`はどちらも「私は2時間近く待った」という意味になります。`nearly`の方が少しフォーマルな響きを持つことがあります。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①「要請、リクエスト」です。名詞の`request`は、何かをしてほしい、あるいは何かが欲しいという、丁寧かつ公式な申し出を指します。`The singer performed the song at the request of his fans.` (その歌手はファンのリクエストに応じてその歌を歌った)。②「質問」は`question`、③「探求」は`quest`、④「休息」は`rest`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`request`は動詞として「～を要請する、頼む」という意味でも使われます。`All visitors are requested to sign in at the reception.` (ご来訪の皆様は受付で署名するようお願いされています)。
`make a request`で「要請する」というコロケーションも重要です。

18.

解答 ②

【解説】

正解は②の`habit`で、個人が定期的に、あるいは無意識のうちに言う「習慣」や「癖」を指します。`Waking up early is a good habit.` (早起きは良い習慣だ)。他の選択肢を見てみましょう。①`hobby`は「趣味」、③`custom`は社会や文化に根付いた「風習、しきたり」で、個人的な`habit`とは区別されます。④`habitat`は「(動植物の) 生息地」という意味です。

◆補足：`have a habit of -ing`や`be in the habit of -ing`の形で「～する習慣がある」という表現がよく使われます。`He has a habit of biting his nails when he is nervous.` (彼には緊張すると爪を噛む癖がある)。
`break a bad habit`で「悪い癖をやめる」となります。

19.

解答 ④

【解説】

正解は④の`overweight`で、「太りすぎの、重量超過の」という意味の形容詞です。`over` (～を超えて) と `weight` (体重、重さ) が組み合わさった単語で、医学的に健康とされる範囲を超えて体重が重いことを指します。`Being overweight can increase the risk of various health problems.` (太りすぎは様々な健康問題のリスクを高める可能性がある)。他の選択肢は、①`underweight`が`overweight`の反意語で「低体重の」、②`overwork`が名詞で「過労」、③`powerful`が「力強い」という意味です。

◆補足：`overweight`は、`fat` (太った) よりも客観的で、より丁寧な表現とされています。`fat`は直接的すぎて、場合によっては相手を不快にさせる可能性があるため、特に人について話すときは`overweight`を使う方が無難です。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①の`tasty`で、「おいしい、風味の良い」という意味の形容詞です。`delicious`とほぼ同じ意味で使えますが、`tasty`の方がより口語的で、日常会話で気軽に使いやすい響きがあります。`She cooked us a very tasty meal.`（彼女は私たちにとてもおいしい食事を作ってくれた）。他の選択肢は、②`testy`が「短気な、怒りっぽい」、③`thirsty`が「のどが渴いた」、④`tidy`が「きちんとした、整頓された」という意味です。

◆補足：`tasty`は名詞の`taste`（味）に`-y`が付いてできた形容詞です。食べ物感想を言うときに`delicious`一辺倒にならず、`tasty`や`yummy`（口語）などの表現も使えると、より自然な会話になります。

21.

解答 ④

【解説】

正解は④の`find out`で、「（調査などの結果）…ということがわかる、～を見つけ出す」という意味です。それまで知らなかった情報を、調べたり聞いたりして発見するニュアンスで使われます。`The police are trying to find out the truth.`（警察は真相を突き止めようとしている）。他の選択肢は、①`point out`が「～を指摘する」、②`figure out`が考えて「～を理解する、解決する」、③`turn out`が「（結果的に）～だと判明する」という意味で、それぞれ「わかる」のニュアンスが異なります。

◆補足：`find`（見つける）と`find out`（知る、わかる）の違いがポイントです。`I found my keys.`は「鍵を見つけた」（物理的発見）ですが、`I found out he was married.`は「彼が結婚していると知った」（情報的発見）となります。

22.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を配達する」です。`deliver`は、手紙、小包、食事などを目的の場所に「届ける、配達する」という意味の動詞です。`The package will be delivered to your home tomorrow.`（その荷物は明日、ご自宅に配達されます）。①「～を発見する」は`discover`、③「～を分割する」は`divide`、④「～を遅らせる」は`delay`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：名詞形は`delivery`（配達、配達物）です。`cash on delivery`（代金引換払い）。また、`deliver`は、スピーチや講演などを「行う、述べる」という意味でも使われます。`She delivered a powerful speech about human rights.`（彼女は人権について力強いスピーチを行った）。

23.

解答 ③

【解説】

正解は③「味、味覚、好み」です。名詞の`taste`は、主に三つの意味があります。①甘い、しょっぱいなどの「味、風味」、②味を感じる能力である「味覚」、③服装や音楽、インテリアなどに対する「好み、趣味、センス」です。`This coffee has a bitter taste.`（このコーヒーは苦い味がする）。`He has a unique taste in fashion.`（彼はファッションにおいて独特のセンスを持っている）。①「仕事」は`task`や`job`、②「テスト」は`test`、④「教科書」は`textbook`です。

◆補足：動詞の`taste`は「～な味がする」や「～の味をみる」という意味です。形容詞形は`tasty`（おいしい）や`tasteful`（趣味の良い、上品な）があります。`taste`は五感に関わる基本的な単語なので、名詞と動詞の両方の使い方をマスターしておきましょう。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③「懐中電灯」です。`flashlight`は、手で持って使う携帯用の電灯のことで、主にアメリカ英語で使われます。`flash`（閃光）と`light`（光）が組み合わさった単語です。`It was so dark that I needed a flashlight to see.`（とても暗かったので、見るために懐中電灯が必要だった）。①「閃光」は`flash`、②「蛍光灯」は`fluorescent lamp`、④「信号機」は`traffic light`です。

◆補足：イギリス英語では、同じものを`torch`（トーチ）と呼ぶのが一般的です。スマートフォンのライト機能も`flashlight`と呼ばれますね。

25.

解答 ④

【解説】

正解は④「面接、インタビュー」です。`interview`は、名詞として、就職や入学のための「面接」や、記者などが特定の人に行う「会見、インタビュー」を意味します。`She was nervous before her job interview.`（彼女は就職の面接の前、緊張していた）。①「会議」は`meeting`や`conference`、②「討論」は`debate`や`discussion`、③「対話」は`dialogue`が適切な単語です。

◆補足：`interview`は動詞として「～に面接する、インタビューする」という意味でも使われます。`I was interviewed by three people.`（私は3人に面接された）。面接する人は`interviewer`、される人は`interviewee`と呼ばれます。

26.

解答 ②

【解説】

正解は②の`wish`で、「～であればよいのに（と願う）」という意味の動詞です。現在の事実とは異なることや、実現の可能性が非常に低いことに対する、切ない願望を表すのに使われます。そのため、後ろ

に続く節の中の動詞は過去形になる（仮定法過去）のが大きな特徴です。`I wish I could fly like a bird.`（鳥のように飛べたらなあ）。他の選択肢は、①`hope`が実現の可能性があることを「望む」、③`want`が「～が欲しい、～したい」、④`expect`が「～を期待する、予期する」という意味です。

◆補足：`wish`と`hope`の使い分けは非常に重要です。`I hope it will be sunny tomorrow.`（明日晴れるといいな）のように、未来のことで実現可能なことには`hope`を使います。`I wish it were sunny now.`（今、晴れていればなあ（実際は晴れていない））のように、現在の事実に反する願望には`wish`を使います。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①「～の世話をする、～を引き受ける」です。`take care of`～`は、二つの主要な意味を持つ非常に重要な句動詞です。一つは、子供、病人、ペットなどの「～の世話をする、面倒を見る」という意味です。もう一つは、仕事、問題、手配などを「～を引き受ける、処理する」という意味です。`Could you take care of my dog while I'm away?`（私が留守の間、犬の世話をしていただけますか？）。`Don't worry about the arrangements; I'll take care of it.`（手配のことは心配しないで。私が引き受けます）。②「注意する」は`take care`、③「離陸する」は`take off`、④「～を心配する」は`worry about`などが適切です。

◆補足：「～の世話をする」という意味では`look after`～`とほぼ同じ意味で使えます。`take care`は別際の挨拶として「気をつけてね、お元気で」という意味で単独で使われることも非常に多いです。

28.

解答 ①

【解説】

正解は①「技術的な、専門的な」です。`technical`は形容詞で、科学や工業、特定の機械の操作など、専門的な知識や技術に関することを指します。`The report was full of technical terms that I couldn't understand.`（その報告書は私には理解できない専門用語でいっぱいだった）。②「理論的な」は`theoretical`、③「典型的な」は`typical`、④「熱帯の」は`tropical`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`technical`は名詞`technology`（科学技術）や`technique`（技術、技巧）と関連しています。これらの単語をファミリーとして覚えると効果的です。コロケーションとしては、`technical support`（技術サポート）、`technical problem`（技術的な問題）、`technical college`（専門学校）などがあります。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④の`sound like ~`で、「～のように聞こえる、～のようだ」という意味です。実際に聞こえる音や、話の内容から受けた印象について述べるときに使います。`Your voice sounds like your father's.`（あなたの声はお父さんの声に似ていますね）。`That sounds like a fun trip.`（それは楽しそうな旅行ですね）。他の選択肢は、①`look like ~`が視覚的な印象、②`feel like ~`が触覚や感情、③`seem like ~`が総合的な推量を表します。

◆補足：`sound like`の後ろには名詞が来ます。`That sounds great.`のように形容詞を続ける場合は`like`は不要です。この「五感動詞 + 形容詞/like + 名詞」の使い分けは、英会話の基本として非常に重要なので、セットで覚えておきましょう。

30.

解答 ③

【解説】

正解は③「態度、考え方」です。`attitude`は、物事に対する「態度、心構え、考え方」を意味する名詞です。特定の人や状況に対する、感情に基づいた行動の様式や心の持ち方を指します。`A positive attitude is important for success.`（前向きな態度は成功にとって重要だ）。①「高度、標高」は`altitude`、②「才能、適性」は`aptitude`、④「感謝」は`gratitude`です。これらは`-titude`で終わる紛らわしい単語なので、意味の違いをしっかりと理解しておきましょう。

◆補足：`attitude toward(s) ~`で「～に対する態度」という形でよく使われます。`He changed his attitude toward me.`（彼は私に対する態度を変えた）。

31.

解答 ④

【解説】

正解は④「～をよく考える、～を…と見なす」です。`consider`は、主に二つの意味を持つ動詞です。一つは、決定を下す前に「～をじっくり考える、熟考する」という意味です。`You should consider all the possible consequences.`（あなたは起こりうるすべての結果をよく考えるべきだ）。もう一つは、`consider A (to be) B`の形で「AをBと見なす、思う」という意味です。`We consider him to be the best candidate for the job.`（私たちは彼がその仕事に最適な候補者だと考えている）。①は`continue`、②は`consist of`、③は`conclude`です。

◆補足：`consider -ing`で「～することを検討する」という形も非常に重要です。`She is considering moving to another city.`（彼女は別の都市への引っ越しを検討している）。名詞形は`consideration`（考慮、思いやり）、形容詞形は`considerate`（思いやりのある）です。

32.

解答 ④

【解説】

正解は④の`discount`で、「割引、値引き」を意味する名詞です。通常価格（`regular price`）から一定の金額や割合を引くことを指します。`They are offering a 20% discount on all winter coats.`（彼らはすべての冬物コートを20%割引で提供している）。他の選択肢は、①`account`が「口座、説明」、②`amount`が「量、総額」、③`distance`が「距離」という意味です。

◆補足：`discount`は動詞として「～を割り引く」という意味でも使われます。`The ticket price is discounted for students.`（そのチケット価格は学生向けに割り引かれる）。コロケーションとしては、`a discount store`（ディスカウントストア）や`get a discount`（割引を受ける）などがあります。

33.

解答 ①

【解説】

正解は①「不足、欠乏」です。名詞の`lack`は、必要なものが十分でない状態を指します。`a lack of`～の形で使われることがほとんどです。`Her failure was due to a lack of experience.`（彼女の失敗は経験不足が原因だった）。②「運」は`luck`、③「錠」は`lock`、④「幸運」は`fortune`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`lack`は動詞として「～を欠いている」という意味でも使われます。`He lacks the skills needed for the job.`（彼にはその仕事に必要な技術が欠けている）。名詞と動詞で同じ形なので、文の中での働きに注意しましょう。`shortage`も「不足」を意味しますが、`shortage`は需要に対して供給が足りない状況、`lack`は単に存在しない・不十分な状況を指すことが多いです。

34.

解答 ③

【解説】

正解は③「高価な」です。`expensive`は、商品やサービスの値段が高いことを表す形容詞です。`This restaurant is too expensive for me.`（このレストランは私には高価すぎる）。①「安価な」は`cheap`や`inexpensive`で、`expensive`の対義語です。`cheap`は単に安いだけでなく、質が悪いというニュアンスを含むことがあります。②「広々とした」は`spacious`、④「表現豊かな」は`expressive`が適切な単語です。

◆補足：名詞形は`expense`（費用、支出）です。`travel expenses`（旅費）。`expensive`は値段そのものが高いことを指しますが、`costly`も「費用のかかる」という意味で、特に予期せぬ大きな出費を伴うニュアンスで使われることがあります。

35.

解答 ①

【解説】

正解は①「責任がある」です。`responsible`は形容詞で、ある仕事や義務、あるいは起きてしまった悪いことに対して、責務を負っている状態を表します。`be responsible for ~`の形で「~に対して責任がある」と表現するのが一般的です。`As a team leader, you are responsible for the project's success.`(チームリーダーとして、あなたにはプロジェクトの成功に対する責任がある)。②「応答できる、反応が良い」は`responsive`、③「尊敬できる、立派な」は`respectable`、④「関係がある」は`related`です。

◆補足：名詞形は`responsibility`（責任）です。`take responsibility for ~`で「~の責任を取る」という重要なコロケーションになります。`It's important to act in a responsible manner.`（責任ある態度で行動することが重要です）。

36.

解答 ①

【解説】

正解は①「安い、安価な」です。`cheap`は形容詞で、物の値段が低いことを表します。`I found a cheap flight to Okinawa.`（私は沖縄行きの安い航空券を見つけた）。②「高価な」は`expensive`で、`cheap`の明確な対義語です。③「無料の」は`free`（例：`free of charge`）、④「深い」は`deep`が適切な単語です。

◆補足：`cheap`は、単に値段が安いだけでなく、「安っぽい、質の悪い」というネガティブなニュアンスで使われることもあるので、文脈によっては注意が必要です。単に「値段が手頃だ」と肯定的に言いたい場合は、`inexpensive`や`reasonable`を使う方が好まれることもあります。

37.

解答 ③

【解説】

正解は③の`once in a while`で、「時々、たまに」という意味の熟語です。頻度は高くないものの、時折何かをすることを表します。`I enjoy going to the theater once in a while.`（私はたまに劇場に行くのを楽しむ）。他の選択肢は、①`all the while`が「その間ずっと」、②`for a while`が「しばらくの間」、④`in a short while`が「まもなく、すぐに」という意味です。

◆補足：`once in a while`は`sometimes`や`occasionally`とほぼ同じ意味で、置き換えることができます。会話では、`Every once in a while`と`every`を付けることで、その頻度が「ごくたまに」であることを強調する言い方もよく使われます。

38.

解答 ④

【解説】

正解は①「新鮮な、新しい」です。`fresh`は、食べ物が採れたて・作られたてであることや、空気や水が清らかなこと、アイデアなどが目新しいことを表す形容詞です。`This fish is very fresh. It was caught this morning.`（この魚はとても新鮮だ。今朝獲れたものだ）。`He came up with a fresh idea for the project.`（彼はそのプロジェクトに新しいアイデアを思いついた）。①「凍った」は`frozen`、②「自由な」は`free`、③「速い」は`fast`です。

◆補足：`fresh`は「塩気のない」という意味で`fresh water`（真水、淡水）という使い方もあります。動詞の`refresh`（～をさわやかにする、新たに作る）や、名詞の`refreshments`（軽食、飲み物）も`fresh`から派生した関連語です。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④の`be satisfied with`～`で、「～に満足している」という意味です。自分の期待や要求が満たされ、満足している状態を表します。`I'm not satisfied with my test results.`（私は自分のテストの結果に満足していない）。他の選択肢は、①`be surprised at`～`が「～に驚いている」、②`be filled with`～`が「～で満たされている」、③`be covered with`～`が「～で覆われている」という、それぞれ`be` + 過去分詞 + 前置詞`の形の重要な熟語です。

◆補足：`satisfied`は動詞`satisfy`（～を満足させる）の過去分詞形が形容詞として使われている形です。名詞形は`satisfaction`（満足）です。`customer satisfaction`（顧客満足度）はビジネスの分野でよく使われる言葉です。

40.

解答 ②

【解説】

正解は②の`put`～`away`で、「～を片付ける、元の場所へしまう」という意味です。使った物や散らかっている物を、本来あるべき場所（引き出し、棚、箱など）に戻すことを表します。`After reading the book, he put it away on the bookshelf.`（その本を読んだ後、彼はそれを本棚にしまった）。他の選択肢は、①`throw`～`away`が「～を捨てる」、③`take`～`away`が「～を持ち去る」、④`pass away`が「亡くなる」という、死を婉曲的に表す表現です。

◆補足：`put away`は、`clean up`（掃除する、きれいに片付ける）と意味が似ていますが、`put away`は特に「物があるべき場所に戻す」という点に焦点があります。目的語が代名詞の場合は`put it away`のように間に挟みます。

41.

解答 ①

【解説】

正解は①「役に立たない」です。`useless`は形容詞で、`useful`（役に立つ）に、否定を表す接尾辞`-less`（～がない）が付いた形です。「使い道がない」というのが元々の意味で、目的を果たさなかったり、何の価値もなかったりする物事に対して使われます。`It is useless to argue with him.`（彼と議論しても無駄だ）。②「役に立つ」は`useful`で、`useless`の対義語です。③「使用された、中古の」は`used`、④「珍しい」は`unusual`が適切な単語です。

◆補足：`-less`は「～がない」という意味を表す重要な接尾辞です。`careless`（注意がない→不注意な）、`homeless`（家がない）、`endless`（終わりが無い）など、多くの形容詞を作ります。このパターンを覚えておくと、知らない単語でも意味を推測しやすくなります。

42.

解答 ③

【解説】

正解は③の`park`で、名詞として「公園、遊園地」、動詞として「～を駐車する」という二つの重要な意味があります。名詞の例: `Children are playing in the park.`（子供たちが公園で遊んでいる）。動詞の例: `You can't park your car here.`（ここに車を駐車することはできません）。他の選択肢は、

①`part`が「部分」、②`path`が「小道」、④`dark`が形容詞で「暗い」という意味です。

◆補足：「駐車場」は`a parking lot`（アメリカ英語）や`a car park`（イギリス英語）と言います。「駐車違反」は`a parking violation`、「駐車違反切符」は`a parking ticket`です。

43.

解答 ②

【解説】

正解は②の`effort`で、「努力、骨折り」を意味する名詞です。目標を達成するために、精神的または肉体的な力を使うことを指します。`Success is not possible without hard effort.`（懸命な努力なしに成功は不可能だ）。他の選択肢は、①`effect`が「効果、影響」、③`offer`が「申し出」や「提供する」という動詞、④`afford`が「～する余裕がある」という動詞です。

◆補足：`make an effort`で「努力する」という決まった言い方になります。`He made every effort to pass the exam.`（彼は試験に合格するためにあらゆる努力をした）。`effort`は数えられる名詞としても、数えられない名詞としても使われますが、`an effort`や`efforts`のように数えられる用法の方が一般的です。

44.

解答 ③

【解説】

正解は③の`start with`で、「～から始める、～で始まる」という意味です。一連の行動や手順、あるいは料理やスピーチなどの最初の部分が何かを示すときに使います。`I'd like to start with a brief summary of the last meeting.`（前回の会議の簡単な要約から始めたいと思います）。他の選択肢は、①`end with`が「～で終わる」、②`deal with`が「～に対処する、～を扱う」、④`fill with`が「～で満たす」という、それぞれ重要な表現です。

◆補足：`start with`～は`begin with`～とほぼ同じ意味で使うことができます。また、`to start with`という形で文頭に置き、「まず第一に、手始めに」という意味で使うこともあります。`To start with, we need more money.`（まず第一に、我々にはもっとお金が必要だ）。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「食事、食事療法、国会」です。`diet`は複数の意味を持つ名詞です。一つは「(日常の) 食事、食生活」。もう一つは、減量や健康管理のための「規定食、食事療法、ダイエット」です。さらに、日本の「国会」は英語で`the National Diet`または単に`the Diet`と大文字で表記します。①「死ぬ」は動詞の`die`、②「日記」は`diary`、③「指図する」は動詞の`direct`です。

◆補足：動詞としても`diet`は「ダイエットをする」という意味で使われます。`go on a diet`という表現は「ダイエットを始める」という意味で一般的です。コロケーションとしては`a healthy diet`（健康的な食事）、`a balanced diet`（バランスの取れた食事）などがあります。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③の`bottle`で、水やワイン、牛乳などの液体を入れるためのガラスやプラスチック製の容器である「びん、ボトル」を意味します。`Please recycle glass bottles and cans.`（ガラスびんと缶をリサイクルしてください）。他の選択肢は、①`battle`が「戦闘」、②`bottom`が「底」、④`beetle`が「カブトムシ」という意味で、発音やスペルが似ていますが意味は異なります。

◆補足：`a plastic bottle`（ペットボトル）、`a bottle of water`（ボトル入りの水）。動詞としては「～をびんに詰める」という意味もあります。`bottled water`（ボトル詰めの水）のように、過去分詞形が形容詞として使われることもあります。

47.

解答 ①

【解説】

正解は①「必ず～する」です。`be sure to do`は、相手に対して何かを確実に行うように念を押したり、自分がある行動を確実に行う意志を表したりする際に使います。命令文の形で`Be sure to ...`（必ず～してください）と使われることが非常に多いです。`Be sure to turn off the lights when you leave the room.`（部屋を出るときは必ず電気を消してください）。②「～するはずだ」は`be supposed to do`、③「～しそうである」は`be likely to do`、④「～する準備ができています」は`be ready to do`です。

◆補足：`I'm sure that ...`（…ということを確信している）という表現と混同しないように注意しましょう。`be sure to do`が「行動」を促すのに対し、`be sure that ...`は話し手の「確信」を表します。`I'm sure he will pass the exam.`（彼が試験に合格することを私は確信している）。

48.

解答 ③

【解説】

正解は③の`unfortunately`で、「不運にも、残念ながら」という意味の副詞です。文頭に置かれて文全体を修飾することが多く、期待や希望に反する良くない出来事が起こったことを示します。

`Unfortunately, the concert was canceled due to the storm.`（残念ながら、コンサートは嵐のため中止になった）。他の選択肢は、①`unexpectedly`が「予期せず、思いがけず」、②`unfriendly`が形容詞で「よそよそしい」、④`uncomfortable`が形容詞で「不快な」という意味です。

◆補足：`unfortunately`は、形容詞`fortunate`（幸運な）に、否定を表す接頭辞`un-`と、副詞を作る接尾辞`-ly`が付いてできた単語です。対義語は`fortunately`（幸運にも）で、これも文頭でよく使われます。`Fortunately, everyone was safe.`（幸いなことに、全員無事だった）。

49.

解答 ③

【解説】

正解は③「率直に」です。`frankly`は「率直に、正直に」という意味の副詞で、相手の気持ちを害する可能性を承知の上で、自分の本当の考えを飾らずに言う、というニュアンスで使われます。文頭に置かれて文全体を修飾することが多いです。`Frankly, I think you are making a mistake.`（率直に言って、あなたは間違いを犯していると思う）。①「幸運にも」は`fortunately`や`luckily`、②「頻繁に」は`frequently`、④「自由に」は`freely`です。

◆補足：`frankly speaking`や`to be frank (with you)`という形で文頭に置かれ、「率直に言えば」という意味の挿入句として非常によく使われます。形容詞形は`frank`（率直な）です。`I had a frank discussion with my boss.`（私は上司と率直な話し合いをした）。

50.

【解説】

正解は①「いつもの、ふだんの」です。`usual`は形容詞で、特別ではなく、日常的に行われていることや、いつも通りの状態であることを表します。`He took his usual seat by the window.`（彼は窓際のいつもの席に座った）。②「特別な」は`special`で、`usual`とは反対のニュアンスを持ちます。③「有用な」は`useful`、④「同じ」は`same`がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：`as usual`という形で「いつも通りに」という意味の副詞句として非常によく使われます。

`The train was late, as usual.`（電車は、いつも通り遅れていた）。また、副詞の`usually`（たいてい、ふつうは）は、頻度を表す重要な単語です。`I usually wake up at 7 a.m.`（私はたいてい午前7時に起きる）。
